# 平成29年度 事業報告書

(自 平成 29 年 4 月 1 日 至 平成 30 年 3 月 31 日)

公益財団法人つなぐいのち基金

# <目次>

1.平成 29 年度事業の概観	3
2.公益目的事業(助成事業について)	3
■公益事業目的	3
■事業の趣旨	3
助成事業	4
■平成29年度助成事業の概要	4
■平成29年度(平成30年度対象事業)の助成先募集について	5
助成事業のための啓発・広報活動について	7
■高校生との協働ゼミによる啓発・助成先支援活動 「あいりすプロジェクト」	7
■女子高生による助成先の取材レポート	8
■協働による啓発活動	8
■ボランティアによる活動レポート	9
■活動報告書/会報の作成	10
■人生の先輩からのメッセージ「次代を担う子供たちへ」	10
■つなぐ図書館	10
3. 資金調達について	11
■寄付金等 収益の概況	11
■収益および助成額の推移グラフ」	11
■社会的ニーズに対応した新たな寄付方法の提案開始	12
■寄付金	12
4. 管理運営状況について	13
■組織体制強化の必要性に向けて	13
■はじめての立入検査における推奨事項についての早期対応	13
■選考委員の拡充	13
■車業運営会議休のサネ	1.4

# 1. 平成 29 年度事業の概観

公益移行認定後、児童の健全な人間形成に寄与すべく、高齢者層および事業者から寄付を募り、助成事業を運営してまいりました。しかしながら、事業運営において、継続的な3つの課題に加え、新たに2つの課題の合わせた下記の5つの課題を認識いたしました。

### <事業運営における5つの課題>

- 1. 公財団法人として、継続的に事業運営するために必要となる財務基盤の強化および確立すること。
- 2. 公益法人として社会から信頼されるための事業のフィージビリティとガバナンスを確保すること。
- 3. 事業規模確保による助成事業の拡大と平成30年度以降も視野に公益の増進に寄与すること。
- 4. 立入検査における指摘事項への対応し事務を改善すること。
- 5. 助成先ニーズと非営利セクター環境の変化に対応した新たな助成プログラムを導入すること。

上記を解決に向けて、全体的にまだまだ大幅に対応不足であることは否めない状況ですが、現状の当財団にできることに対しては着実に取り組んでおります。

税額控除適用法人としての証明取得、助成金額の増額、高校生ボランティアとの協働や事務業務委託などを活用し、少しずつではありますが一定の成果も上げてきております。

つきましては、事業活動の報告を以下の通りいたします。

# 2.公益目的事業(助成事業について)

### ■公益事業目的

児童養護施設等に入居を余儀なくされた児童を支援する団体への助成事業

### ■事業の趣旨

本事業は、児童養護施設をはじめとした社会的養護施設、又は、社会的養護を必要とする児童を支援する団体(以下、「児童支援団体」とする。)に助成を行うことにより、児童の心身の健全な育成に貢献することを目的とする。

具体的には、家庭での虐待や貧困、親との死別などにより、社会的養護施設に入所せざるを得なくなった 0 歳から 20 歳の子供たちや、小児がん等の重度の病気のために、入院での闘病生活を余儀なくされている子供たちを養護するため、このような社会的ハンデを抱える子供たちを支援する団体に対する 助成を行い、もって、児童の心身の健全な育成に貢献することを目的とする。

助成については、対象事業をより効果的なものとするため、助成金支給に加え、必要に応じてボランティア等が 無償で支援する。

本助成事業は上記の目的実現に資するため、以下の条件を満たす活動を助成の対象とする。

### 助成事業

### 助成金

児童福祉を主目的とした事業、活動、プロジェクト等を対象とし、法人、団体、施設へ助成金を支給

### ■平成29年度助成事業の概要

平成30年度実施対象事業はインターネットによる公募による募集を行い、7団体に対して助成総額120万円を支給いたしました。(設定残の30万円は平成31年度実施対象事業への助成に繰越し)

### ◇応募および選考状況について

フェーズ	該当団体数	備考
助成申請 エントリー	48 団体	全エントリー数
助成要件 充足団体	28 団体	本申請なし、助成対象不適各団体を除く
調査結果による候補団体	14 団体	財団理念に相応しいか実績等で基礎選考
選定委員会による助成決定団体	7 団体	選考基準に照らし、本年度助成先を選考

### ◇選考結果 平成 29 年度募集 (平成 30 年度対象事業)

	団体名	HP			
	助成対象事業名称				
1	(任意団体)チャイボラ	https://www.facebook.com/chaibora.4children/			
	児童養護施設に入る実習生受け入れマニュアルを作成する事業				
2	(任意団体)「生」教育助産師グループ OHANA	http://ohanamidwife.jp/			
2	児童養護施設において、助産師の視点で「生」と「性」の教育活動と児童の訪問相談事業				
	一般社団法人スリーポート	https://www.facebook.com/1832777016988324/			
3	再統合後や再統合中の親子などが交流をしたり、経験を話し合ったりすることができ、また、社会的養護で				
	保護された経験のある方たちが集い、交流する場や機会を作る居場所事業				
<b>4</b> )	NPO 法人サステナブルネット	http://green-father.sakura.ne.jp/			
4	子どもも大人も無料の子ども食堂を開催し子どもの貧困支援チームをつくり実践する事業				
	(任意団体)つばめの会	http://tsubamenokai.org/			
<b>⑤</b>	患者・家族・医療従事者も含め十分な知識が広まっていない摂食・嚥下障がいの啓発のためのウェブサイト				
	の改修事業				
	公益社団法人ア・ドリームア・デイ IN TOKYO	http://www.guesthouse.or.jp/			
6	難病児とご家族の互いに行ききできない難病児とご家族を東京旅行に同時に招待し彼らが集い、交流し、				
	分かち合う交流の場をつくる支援事業の広報・啓発事業	ŧ			
7	特定非営利活動法人 合	http://careai.web.fc2.com/			
	災害時の停電による医療機器の停止を防止して重症児の生命・身体の安全を確保する災害時電源確保用				
	自家発電機 購入事業				

### ■平成29年度(平成30年度対象事業)の助成先募集について

### ◇募集概要

### 1.目的

本事業は、児童の社会的養護施設、又は、養護施設に入居する児童や社会的ハンディキャップを抱える子供たちを支援する団体や事業プロジェクト(以下、「児童支援団体」とする。)に助成を行うことにより、児童の心身の健全な育成に貢献することを目的としていこの目的に合致した、優れた活動及び、これを推進する団体機関を支援するための助成先募集を行います。

### 2.助成内容

(1) 助成の概要

助成先対象 社会的ハンデを抱える子どもたちを対象とした支援事業、支援活動、支援プロジェクト等

(2) 募集数

助成金 総額150万円 (助成金 10~50 万円 3~7団体を目安として想定)

(3) 助成の対象となる時期

2018年3月から2019年2月に至る期間に実施されるもの

(4) 募集対象場所

助成金 主催者や出演者等の国籍等は問わないが、実施場所は日本国内を中心とするもの

### 3.募集等の日程

(1) 募集期間 2017年12月18日(水)~2018年1月22日(月)

(2) 選考結果の通知 2018年 3月上旬

### 4.公募の掲示方法

当財団ウェブサイト、無償リスティング広告、各中間支援組織・助成情報掲載サイト等での掲示

### 5.選考方法

有識者、学識経験者、専門家等による当財団の選定委員会で厳正に審査し、その答申に基づいて理事会で 決定します。

### ◇選考方法について

「助成事業実施規程」に則り、助成申請のあった団体について、当財団事務局の基礎調査選考担当チームによる調査および基礎選考を実施し、つなぐいのち基金助成選定委員会に報告しました。

有識者、学識経験者、専門家等により構成される選考委員のよる選考の実施、および選考結果の承認を経た後、助成対象団体に助成決定通知書を送付し、助成内容についての了承を取得後の助成金の支払いを行いました。

### ≪選考基準≫

- ・対象となる活動に公益性があること
- ・子どもの健やかな育成へ及ぼす効果、影響
- ・他の団体等のモデルになりうる先駆性
- ・多様な地域住民の関わりや参加度(地域社会との関わりを重視する観点から)地域のニーズに基づく活動であること、ならびにその活動の地域における緊急度
- 計画の実施、遂行能力を裏付ける過去の活動実績と健全性
- ・事業目標の明確性、および目標を実現するための事業計画と資金計画の合理性
- ・社会的なニーズや関心事を鑑み「里親制度の推進・支援」「子どもの居場所・地域コミュニティによる困難家庭の子どもへの支援事業の継続のための支援」「コレクティブ・インパクト」選考時の重点項目として設定しております。

(子ども成長に合わせて取り組んできた平成 26~30 年度対象事業と平成 29 年度対象事業の募集)



無談道所給の進学支援

大学経済所決を表示した者、第門学哲や大学な人 第7下の子と内立ちを発展する数学を発了ログリム

社会的児童英漢対象者の試験支援

子ども支援事業の機能のための支援

N. HAWMSHOOD COURS ORS

社会の元金英俊士の名の中立が 10-12-1

> ■ 第四年を定案、住民党、コミニディを作の仕事 からかからディスをかられたの前項を提供する。 およりを人物と同様でも発生を一点へ一方面的

## (当財団 WEB サイトの公開した助成委員会レポート

人観察庭を対象とした支援

韓国党を対象とした五郎

意義というのこのを持つさませたも人の信仰 トレーニングによる程度を開催されませぬします

THE PROPERTY OF THE PROPERTY O



### http://tsunagu-inochi.org/portfolio/grants2017th\_committee/ )

2016

子ともの展場所

による回顧家庭の 子ども支援事業の 競技のための支援

2018年度 つなぐ熟成

施成会10万円~50万円 を支給します。 1950年以上160万円





今年度は昨年に比べ応募数も少なく、申請書のクオリティも低い事業が散見されました。事務局から再度ご案内させていただいたにも関わらず、募集要項やご案内をしっかりご覧いただけない残念が団体もいくつかございました。子ども支援に関する助成や補助金の募集も増え、応募機会も増える中で当財団の魅力が相対的に低下したこと。また、全国的に機会や額も増加傾向にある中、子どもの支援そのものよりも資金を目当てにした団体も増えてきているのではないかと懸念しています。

そのような状況ですので選考のポイントとなったのは、はやり一番は応募の本気度とさせていただきました。 申請書の要綱をしっかりご覧いただき丁寧に作成いただいていることが最低条件でした。

次に、事業計画の実現度と当財団の助成金の必要性の観点です。自団体の資金で対応できるであろうと思料できる事業も選考では優先順位を下げざるを得ませんでした。

そして、これまでに事例としてまだ取り組みが少ない事業であることや新たな視座や着眼点を持っていること も選考の基準とさせていただきました。

全体としては、スタートアップが多い傾向となりましたが、重要性の高く、着眼点がユニークな助成先を選考できたのではないかと思っております。

### 助成事業のための啓発・広報活動について

乳児院や児童養護施設やグループホーム等の社会的養護施設、又は、社会的養護設に入居する児童および重度の病気や障害で治療をする児童を支援するために活動する助成団体の活動、当財団を支援くださっているボランティアやプロボノのみなさんに当財団および仕組みを運営するため資金として、寄付金や賛助会員の募集、そのための広報、啓発活動を行っています。

### ■高校生との協働ゼミによる啓発・助成先支援活動「あいりすプロジェクト」

あるセッションでの出会いをきっかけにして、2年生は全員が海外留学するという郁文館グローバル高等学校プログラムの一つであるゼミ活動の一環として、福祉ゼミのみなさんと協働プロジェクトをスタートすることになりました。 助成先取材、児童福祉に関する広報、児童養護施設支援などの協働で活動をしました。



http://irisp.tsunagu-inochi.org/irisp/

# with a final control of the control

https://www.ourfutures.net/sessions/2722/report#session-tabs

### 年間スケジュール

4月22日 聖友ホーム グループホーム引越しサポート

5月14日 聖友ホーム ゆうやけ市 参加

5月29日 協働プロジェクト会議 開催

6月24日 聖友ホーム 倉庫整理

7月8日 協働プロジェクト全体会議 開催

7月16日 聖友ホーム 流しそうめん大会用 竹採取

7月29日 聖友ホーム 流しそうめん大会 前日準備

7月30日 聖友ホーム 流しそうめん大会 開催

聖友乳児院 見学

8月10日 協働プロジェクト 合同会議 開催

8月26日 聖友ホーム 第1回合同勉強会 実施

9月30日 郁秋祭(学校祭) 感謝状授与

10 月 28 日 聖友ホーム 阿佐ヶ谷 Jazz Street 支援

10 月 31 日 デンマークのボランティア留学生と WEB 会議開催

11月3,11日 聖友ホーム ゆうやけ市の準備

11月12日 聖友ホーム ゆうやけ市 当日ボランティア参加

当財団助成先への取材 レポート作成 児童福祉、高齢者福祉 書籍レヴュー 児童福祉、高齢者福祉 News Curation

### 活動の概観

### 前半は、フロントでのアクション:

初めての活動はつなぐいのち基金の助成先でもある社会福祉法人(乳児院・児童養護施設)の引っ越し作業でした。その後、掃除やイベント支援など体を動かしての施設をエンパワーメントするボランティア活動をしました。また、回数を重ねるごとに施設の信頼を獲得し、子どもとのふれあいをする活動や乳児院の見学など福祉ゼミにとって価値のある経験に繋がりました。

### 後半は、アカデミックなアクション:

各自の研究を進めるとともに、このプロジェクトでも研究に繋がる活動に取り組みました。各自興味分野に分かれ、本年度の当財団助成先への取材をし、レポートを作成するほか、福祉関連ニュースのキュレーション記事・読書レポートの作成を Web サイトに記事を上げました。そして、フューチャーセッション・報告会に…

### ■女子高生による助成先の取材レポート

多くのご支援者の方からお預かりした会費・寄付金が、助成先の 事業で有効に利用されているかの確認、そして支援者様へのご報告 を兼ねて、助成先団体への取材を実施しております。

この取材も本年度は高校生の協働により、助成事業の社会課題に対する実施状況、どのように子どもたちにためにつながっているかを分かりやすくお伝えすることを意図しております。

多くの助成先団体をウェブサイトに掲載しております。

http://tsunagu-inochi.org/activities/report/







BEER COURDOONS 18 1 = ₹7 E 28 CINSHIIII







地域先数材レポート ものいくハウス

### ■協働による啓発活動

### 福祉について多世代で"やわらかく"知る・考える Future Session の開催

2017 年 12 月 17 日に日本橋にあるサイボウズ株式会社の本社にて、フューチャーセッション 兼 あいりす プロジェクトの活動報告会を開催しました。キーノートスピーカーとして NPO 法人リトルワンズの代表小山様 から団体の活動の発表を、フューチャーセッションの始まりとして飾っていただきました。

その後、郁文館グローバル高校社会福祉ゼミより一年間のゼミの活動や個人研究の発表を行いました。 そして、石巻より山崎泰央教授をファシリテーターとしてお迎えし、これからの社会福祉をやわらかく考える ワークショップを参加者の全員で行いました。最後は、チームに分かれそれぞれ話し合ったことを新聞という 形にまとめ各自発表いたしました。多岐にわたる方々をお招きし、大変内容の濃い時間になりました。







### プロジェクト専用サイト

### http://tsunagu-inochi.org/activities/irisproject2017/



### ■ボランティアによる活動レポート

### 活動から Pick Up ご紹介

### スタートはグループホーム引っ越しの掃除から

はっきり言って児童養護施設の職員さんは忙しい、そして、 人も十分とは言えない。グループホーム(※1)の引っ越し ともなると尚更です。そこで、私たちで荷物の搬出後の掃除 を引き受けることになりました。



### 地域商店街イベントへの参加支援

数年前からいつもお世話になっている商店街のイベントに 出店という形で参加させていただいています。今回は、一口 カレーとフリマといったランナップです。



### 流しそうめん大会 準備&開催

昨年は苦行のようだった流しそうめん用の竹の採取も、 若い力が加わり竹取り自体が楽しいイベントとなりました。



流しそうめん当日は、大雨の天気予報でしたが、嬉しい方 の大八ズレとなり、昨年に引き続き楽しみにしてくれていた 子どもたちの笑顔と歓声に囲まれ、ボランティアを含めた参 加者すべてに素晴らしい時間となりました。 職員のみなさん のご協力にも感謝です。

(流しそうめん大会の当日の写真の掲載については、子ども たちのプライバシーに配慮し、控えさせていただきます)

### 園庭の物置の整理

夏の暑い日の強い日差しも、高校生には関係ないようで、 大量の収容物を外に搬出し、クリーンネス&リベアー後に、 年間のイベントスケジュールを考慮した配置を再度検討し、 整理して収納しました。



福祉関連のニュースキュレーション、読書レボート

主に夏休みを利用してそれぞれがチョイスした活動をまと めて発信します。現役高校生の視座や感覚を感じていただけ るコンテンツです。



### 助成先への取材&レポート作成

当財団の平成29年度対象の7つの助成事業先を選定委員と 一緒に訪問し、団体・活動・思いなどをお聞きしました。



お話は取材レポートを作成、本当に貴重な経験となりました。 (ご支援者の報告のための助成事業の進捗状況確認も同時に実施)

### デンマークとのWEB交流Meeting

当財団の学戦インターンボランティアのうち1名が4年次 を休学して、デンマークにボランティア留学をしています。 社会福祉の先進国の一つであるデンマークで大学でのボラン ティアをしながら勉強をしています。

時差は約7時間もデンマーク、東京の15時から(現地は 朝8時)1時間強のWEBでのセッションで交流をしました。

### ■活動報告書/会報の作成

活動の報告と支援者とのコミュニケ―ションとして 会報/活動報告書『Link⇔Age』6・7号を発行しました。





### ■人生の先輩からのメッセージ「次代を担う子供たちへ」

代表の鵜居が、起業家や芸術家など人生の先輩方にインタビューをさせていただき、次代を担う子どもたちにとって参考になるお話やメッセ―ジをお聞きし、HPに記事をアップしております。

### 次代を担う子供たちへ

http://tsunagu-inochi.org/activities/tsunagu-library/



### ■つなぐ図書館

子供の福祉と高齢者問題など社会課題の関連書籍のご紹介と Book レヴューを掲載するつなぐ図書館。

こちらもシニアボランティアや高校生が読後に作成してくれています。サイトを通じ、支援者や閲覧者と一緒に課題について考え、それぞれでできることに少しでも取り組む機会になることを期待しています。

つなぐ図書館ページに Index しています。

http://tsunagu-inochi.org/activities/tsunagu-library/



# 3. 資金調達について

乳児院や児童養護施設やグループホーム等の社会的養護施設、又は、社会的養護設に入居する児童および 重度の病気や障害で治療をする児童を支援するために活動する団体に対する助成するため、ならびに当財団お よび仕組みを運営するため資金として、賛助会員、寄付金、マンスリーサポーター、クリック募金などの多様な形 のご支援により事業を運営しております。

### ■ 寄付金等 収益の概況

平成29年度の収入は、「マンスリーサポート制度」、「社会貢献物品寄付」、「クリック募金による寄付」などの様々なファンドレイジングのメニュー、個人寄付などの前年に対してより多くのご支援をいただくことができました。インターネットを中心に当財団の活動に共感いただき、より多くの方にご支援をいただくことができるようになってきております。さらに、新たな寄付方法の選択肢として「冠基金」の設立の提案を開始しました。

### ■ 収益および助成額の推移グラフ」





### ■社会的ニーズに対応した新たな寄付方法の提案開始

### 供養寄付 特設サイト(遺贈寄付含む)



http://gokuyokifu.tsunagu-inochi.org/gokuyokifu/

### 冠基金設立 募集ページ



http://tsunaguinochi.org/supportus/tunagukanmurikikin/

### 【平成 29 年度実績】

**冠基金寄付総額 3,000,000** 円 (予算 3,650,000 円)

### ■賛助会員の募集及び会費収入について

賛助会員の募集については、プロジェクトのオフィシャルサポート企業からも営業支援をいただき、「全国優良葬儀社名鑑」に記載された葬儀社のうち、関東、関西、中部の大都市圏にある葬儀社を中心に会員募集を行うこととなっておりましたが、賛助会員制度については、平成30年度に決算月の変更を計画していたこと、また供養寄付特設サイトのアップ予定もあったこともあり、あらたな募集は行いませんでした。

平成30年度以降はふたたび、会員制度の改定、個人および一般企業への勧誘を強化していく予定です。

### 【平成 29 年度実績】

**6 円** (予算 150,000 円)

### ■寄付金

### 【平成 29 年度実績】

寄付総額 3,308,859 円 (予算 3,950,000 円) ※指定正味財産寄付金を除く

### 【内訳】)

マンスリーサポーター(個人月額継続寄付)による寄附金	263,638 円
一般個人寄付	71,973 円
法人寄付	600,000 円
クリック募金サイトからの寄付	49.105 円
社会貢献消費寄付	12,143 円
当財団理事等による寄付	2,312,000 円

# 4. 管理運営状況について

### ■組織体制強化の必要性に向けて

平成 29 年度の変更届出による収益経路の増強と運営改善による財務基盤の強化と合わせて、公益法人として 社会から信頼されるためのフィージビリティの確保、公益目的事業における着実な実績、新たな公益事業の領域の 拡大と改善を申請と実行をするために当財団の組織体制の強化を推進しております。

特に、「冠基金」の運営を開始に向けて、民間公益活動の期待を寄せてくださった支援者の責任を果たし強固なガバナンスと確実なフィージビリティを確保し、より信頼される公益財団法人になる必要がありました。

そのために、立入検査における推奨事項についての早期対応、助成先をこれまで以上に適正に選定するための 選考委員の拡充、事業運営会議体の拡充、という3つの組織の拡充を実施いたしました。

### ■はじめての立入検査における推奨事項についての早期対応

平成 29 年 6 月 23 日、法人設立後初となる内閣府公益等委員会による立入検査を受けました。 公益財団法人として望ましい組織運営として下記を推奨され、それぞれ対応いたしました。

- ① 新たな事業申請(変更認定)は、財務基盤と組織運営体制を確保するまで行わない。
- ② 助成事業と財団運営以外にリソースを投入しない。(ボランティア支援は行わない)
- ③ 経理、事務の専任担当及びダブルチェック体制を確保する。
- ④ 会計ソフトを導入する。
- ⑤ 事務所の個室化する。(これまでコワーキングスペースを事務所として利用)

V

- ① 財務基盤の拡充として正味財産期末残高 333 万円増の 824 万円を確保。(但し、予算は 1000 万円)
- ② 助成先支援ボランティアの活動の場として NPO 法人を新規設立。(今後、必要に応じ協働も可能)
- ③ 業務委託による経理、事務、管理等の財団運営体制を拡充。(但し、費用は発生)
- ④ 非営利団体向けの会計ソフトを導入。((公益法人専用は高額のため、仕訳入力業務委託先と共通ソフト)
- ⑤事務所の個室化(コワーキングプランから個室プランに変更も費用は大幅増)

### ■選考委員の拡充

冠基金の個別選考会開催に向け、議長候補者を従来の3名から更に1名を拡充しました。

### 選考委員 清輔 夏輝 (副選委員長 冠基個別選考会 議長)

NPO 法人チャリティーサンタ 代表理事

1984 年生まれ、福岡県出身。国立有明高専建築学科卒後、独学で IT 業界へ。株式会社サイバーエージェントを経て、14 年より現職。18 歳から始めた一人旅、特にヒッチハイク(移動距離は日本 3 周以上)は人生観を一変させ、IT フリーランス中にチャリティーサンタ、環境活動や旅イベント等のプロジェクトを立ち上げる

http://tsunagu-inochi.org/notice/application-for-grants/selectioncommittee/

# ■事業運営会議体の拡充

### ■ 平成29年度理事会・評議員会の運営

專	評議員会	期		招集通知	開催日	議案
C	)			平成29年4月12日	平成29年4月17日	第1号議案 変更認定申請の取り上げについて 第2号議案 変更屈出について 第3号議案 平成28年度定期報告書類について 第4号議案 会員に関する規程の改定について 第5号議案 寄附金等取扱規程の改定について 第6号議案 助成事業実施規程の改定について 第7号議案 評議員会の招集(平成29年5月15日開催予定)について
	0	0		平成29年4月21日	平成29年5月15日	第1号議案 変更認定申請の取り上げについて 第2号議案 変更届出について(平成29年度事業計画の変更) 第3号議案 平成28年度定期報告書類について
C	)	0		平成29年11月26日	平成29年12月4日	第1号議案 2018年度以降の財団運営の方向性について 第2号議案 2018年度対象 助成事業について 第3号議案 助成選考委員の選定について 第4号議案 決算月の変更について 第5号議案 冠基金ガイドライン(規程)の承認について
C	)	0		平成30年2月10日	平成30年2月16日	第1号議案「2018年度 事業計画書(案)及び収支予算書(案)の承認」の件 第2号議案「2018年度 助成選定委員会結果(助成先)の承認」の件 第3号議案「定款の一部変更案の承認」の件 第4号議案「寄附金等取扱規程の修正案の承認」の件 第5号議案「平成29年度第2回評議員会の招集」の件
	0		0	平成30年2月26日	平成30年3月7日	第1号議案「定款の一部変更案の承認」の件 第2号議案「2018年度 事業計画書(案)及び収支予算書(案)の承認」の件

### 常任理事会

micera	
開催日	主な討議内容
2017年4月10日	平成28年度決算・事業報告、変更認定申請・変更届出、理事会議事進行、規定関連 ほか
2017年6月28日	立入検査での打診事項対応、決算月変更 ほか
2017年7月28日	立入検査での打診事項対応、冠基金 ほか
2017年8月28日	事務所個室化、法人カード、業務委託関連、財団事業対象以外のボランティアメンバーの活動提供方法 ほか
2017年9月26日	立入検査での打診事項対応状況、コミュニティ財団協会、プラチナ研究所はか
2017年11月1日	次年および以降の財団運営、平成30年度助成事業、冠基金 ほか
2017年12月4日	立入検査での打診事項対応状況、協働プロジェクト報告会(フューチャーセッション)、供養寄付サイト ほか
2018年1月15日	平成30年度事業計画 ほか
2018年3月2日	平成30年度事業計画、平成30年度助成事業 ほか
2018年3月29日	事務所個室化、冠基金設定、賛助会員募集 ほか

以上